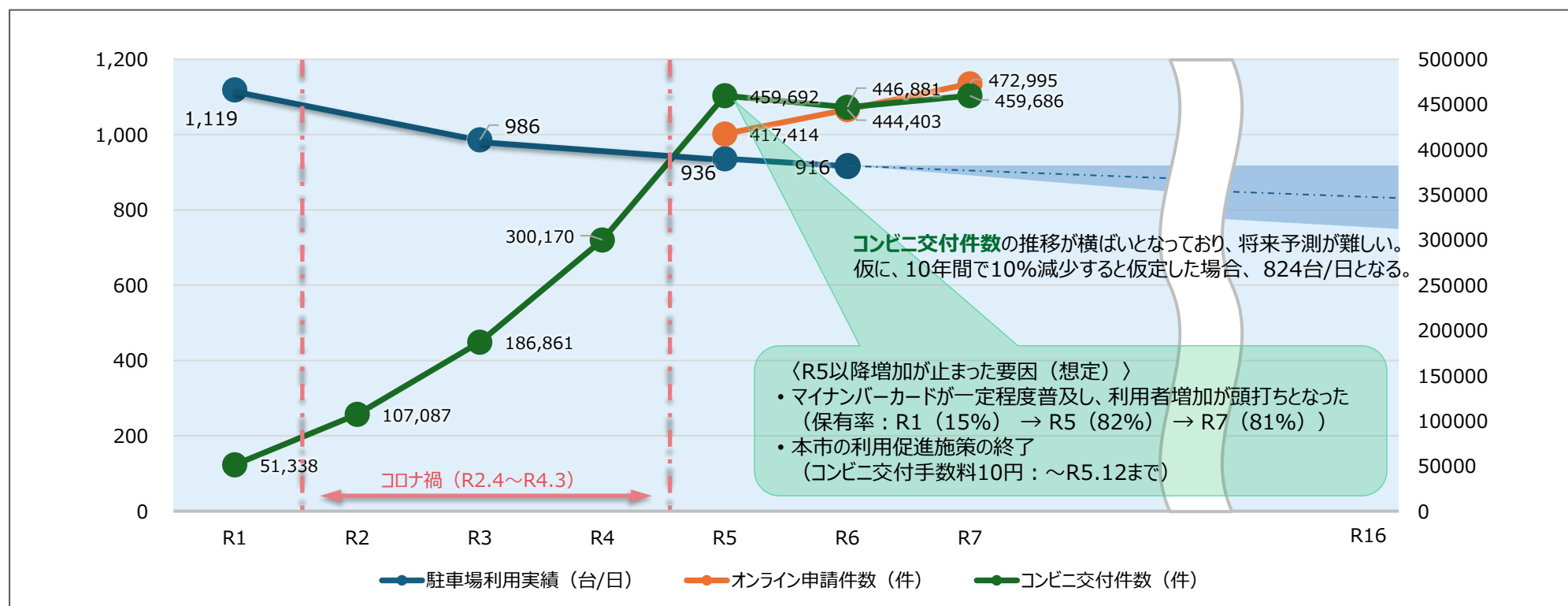


(1) デジタル行政サービス利用実績と駐車場需要の推移

- ・ **コンビニ交付件数**は増加傾向で推移してきたものの、R5年度以降は概ね横ばいで推移している。
- ・ **駐車場利用実績**はR元年度以降減少傾向にあるが、近年の**コンビニ交付件数**がおおむね横ばいで推移していることを踏まえると、今後の**駐車場利用実績**の減少は、緩やかな推移となる可能性が高い。ただし、正確な予測は困難。
- ※ **オンライン申請件数**は、実績が限られており、駐車場利用実績への影響程度は不明。



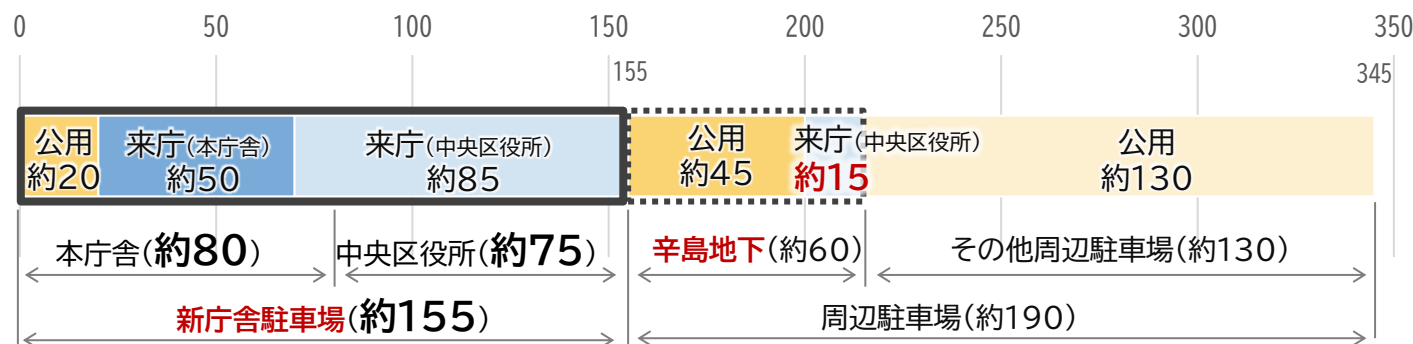
※駐車場利用実績は、市役所駐車場の年間利用実績の「平均+標準偏差」を採用している。
 ※オンライン申請件数は、中央区役所への入居を想定している部署に係る実績を対象としている。
 ※コンビニ交付件数および駐車場利用実績については、H30年度以前の実績は不明。
 ※オンライン申請件数については、R4年度以前の実績は不明。

(2) 将来の駐車場需要減少を想定した必要台数

- ・約10年後に来庁者需要が10%減少すると仮定した場合、**来庁者必要台数**は約135台になる見込み。

$$\left[\begin{array}{l} \text{計画来庁台数} \\ (824.4\text{台/日}) \end{array} \times \begin{array}{l} \text{ピーク率} \\ (\text{約}16\%) \end{array} \times \begin{array}{l} \text{平均駐車時間} \\ (60.3/60) \end{array} \div \begin{array}{l} \text{約}135\text{台} \\ (\text{133台を切上}) \end{array} \right]$$

- ・現在、**来庁者必要台数**のうち約15台分は、辛島公園地下駐車場で確保しており、来庁者需要が10%減少した場合であっても、現計画の整備台数は必要最小限の設定となっているため、更なる削減は困難である。



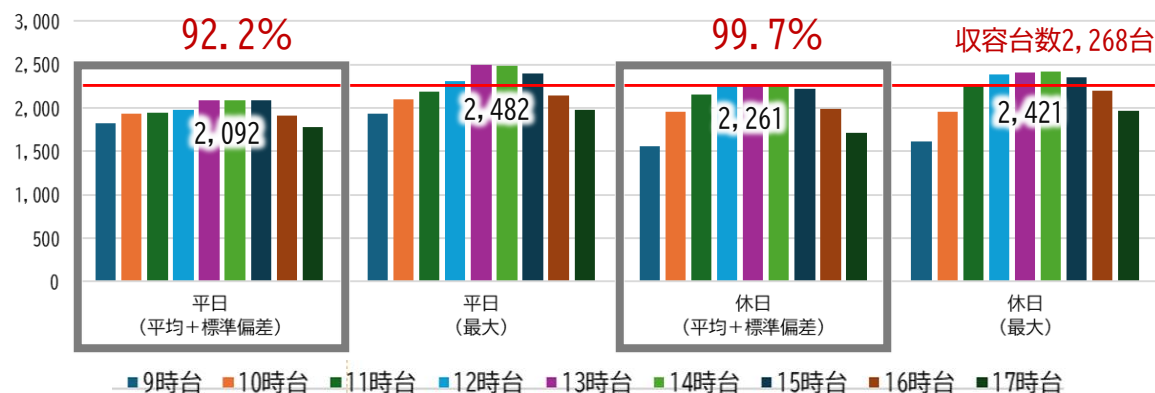
- ・辛島公園地下駐車場の60台は、現在「公用車枠」として活用している台数であり、新庁舎建設時における活用台数は未定。

(3) 新庁舎周辺の駐車需給バランスからみた必要台数

- ・また、新庁舎周辺のエリアにおいては、新庁舎に155台の駐車場を整備した場合でも、エリア全体の満空率（需要／収容台数）が、平日で92.2%、休日で99.7%といずれも高い水準にある。
- ・このため、新庁舎の駐車場を過度に削減すると、周辺エリアの駐車場需給がひっ迫し、入庫待ち車両による交通渋滞等の発生が懸念されることから、駐車場台数の更なる削減は困難である。

		収容台数				需要量		
		現況	閉鎖	新庁舎	合計	現況	庁舎関係	合計
平日	平均+標準偏差	2,554	-441	155	2,268	1,864	228	2,092
	最大値				2,268	2,232	250	2,482
休日	平均+標準偏差				2,268	2,169	92	2,261
	最大値				2,268	2,329	92	2,421

※新庁舎周辺に立地する収容台数100台以上の利用実績が把握な駐車場を集計



・国交省「都市構造の評価に関するハンドブック」におけるバス停の徒歩圏300mを参考に範囲を設定。